

# 熊楠ワークス

KUMAGUSU WORKS

## 第2回南方熊楠ゼミナール

### 「今、南方熊楠が発信するもの ～熊野からのメッセージ」

第二回南方熊楠ゼミナール「今、南方熊楠が発信するもの～熊野からのメッセージ」が、八月二十九日、田辺市の紀南文化会館で開催されました。主催は同ゼミナール実行委、南方熊楠記念館、南方熊楠保存顕彰会。会場には全国各地から熊楠ファンや研究者など約二百人が来場し、記念講演や研究発表を熱心に聴講しました。また、熊楠の生涯をつづったパネル展示や復元した昆虫標本の展示、南方邸の一般開放もありました。

## 「全国から2000人が参加」

### 熊楠の多面性に触れる



熊野と熊楠のかかわりについてさまざまに考察が発表されたシンポジウム

発行所  
南方熊楠保存顕彰会  
和歌山県田辺市湊1619-8  
田辺市民総合センター3階  
田辺市教育委員会文化振興課内  
TEL.0739(22)5300(代表)

## CONTENTS

- 1面 第2回南方熊楠ゼミナール開催
- 2面 上山実行委員長あいさつ
- 3～6面 飯倉さん記念講演
- 7面 南方邸一般開放
- 8面 第3回世界妖怪会議
- 9面 普段着の南方熊楠⑩
- 10面 熊楠ゆかりの地⑩  
中瀬喜陽氏
- 11面 ひき岩群の生きものたち③  
後藤 伸氏
- 12面 熊楠日記読み下し

シンポジウムでは、南方熊楠資料研究会会長の飯倉照平さん（東京都立大名誉教授）による記念講演「熊楠と熊野」、研究発表として日本中世文学研究家の小峯和明さん（立教大文学部教授）が「南方熊楠と今昔物語集」、粘菌学者の萩原博光さん（国立科学博物館植物研究部主任研究官）が「南方粘菌学を探る」を発表しました。

飯倉さんは講演で「世界を巡り熊楠が行き着いたところが熊野。熊野文化は広くいろんな地域とつながっています」と、巨木にまつわる伝承などを取り上げ紹介。熊楠の研究が多面的なのは、熊楠自身を取り囲む世界をどう考えていくかの材料集めとの見方もできるとも考察しました。

◇ 今号のワークスでは、2面に実行委員長・上山春平さんのあいさつ、3～6面に飯倉さんの講演を収録しました。小峯さん、萩原さんの研究発表は次号でご紹介します。

小峯さんは、熊楠が生涯深くかかわった「今昔物語」を取り上げ、「熊楠の多彩な研究は、すべて独立せずにつながっています。熊楠が根付いた熊野の地は、世界に広がる要素をもつ地。アジアの物語の原点であり物語の宝庫『今昔物語』は、そんな熊楠の思考にびったり」と紹介しました。

萩原さんはまず「熊楠は近代の西欧植物学を体系する人ではなく、その姿勢は科学者というよりむしろ文学者の」と、南流学問の姿勢の魅力を語りました。さらに、熊楠の未発表書簡が、熊楠研究にとって欠かせない重要な資料であると述べ、「読解かつ膨大な量だが、何とか活字にして残すべき」と発表しました。